

第85号

平成18年6月14日発行

群馬県山岳連盟

〒371-0005 前橋市堀之下町494-2

女屋 等志方

TEL 027-269-4570

FAX 027-269-4583

編集発行人

群馬県山岳連盟編集部 岡安茂能

印刷所 朝日印刷工業(株)

山岳ぐんま



南岳西尾根2750m付近（前橋山岳会 松田龍彦氏）

平成十七年度

冬山合宿について

群馬県山岳連盟

遭難対策部長 松 永 幸 雄

平成十七年度の冬山合宿が左記のように計画され、実行されました。

大間々山岳会 ハケ岳西面（リーダー…福田純一）。

太田山岳会 甲斐駒ヶ岳（リーダー…長山栄二）。

湊沢岳から奥穂高岳（リーダー…原口慎太郎）。

甲斐駒ヶ岳 黄連谷右俣（リーダー…村田喜昭）。

桐生山岳会 西穂高岳（リーダー…吉田秀樹）。

境町山の会 槍ヶ岳（リーダー…小暮文彦）。

沼田山岳会 谷川岳（リーダー…桜沢斉）。

前橋山岳会 槍ヶ岳（リーダー…角田守）。

西穂高岳（リーダー…田中弘）。

松井田山岳会 ハケ岳（リーダー…由田幾夫）。

今冬の合宿は十二月初めからの大雪で心配されましたが、正月前後は概ね好天に恵まれましたので期待しておりましたが、直前のメンバーの離脱、体調不良等でキャンセルになった合宿が三つあったりで、右記計画の中で計画通り実行されたのは大間々山岳会のハケ岳、太田山岳会の甲斐駒ヶ岳、前橋山岳会の槍ヶ岳、松井田山岳会のハケ岳のみでした。

ここ最近の冬山合宿の傾向ですが、メンバーの高齢化、厳しい社会情勢のために予備日の不足等、なかなか将来につながるきちんとした計画が遂行されていないのが現状です。

将来の群馬県山岳連を背負ってくれる若い優秀な岳人が育つような計画を是非来年度は期待します。

第十六回山田昇記念杯登山競争大会 報告

山田杯 松本大選手二連覇

三枝賞 田口修一選手初優勝

群馬県山岳連盟総務部長 女屋等志

第十六回山田昇記念杯登山競争大会は、平成十七年九月二十五日(日)、台風十七号の影響する小雨の降る中をスタートして、山田昇記念杯の部六十八人、三枝照雄賞の部五十人、一般参加の部十七人の合計百三十五人が参加した。

今大会から、山田昇記念杯の部に男子三十五歳以下、男子三十六歳以上五十五歳以下、男子六十五歳以上と女子の四部門と、三枝照雄賞の部も男女の二部門が設けられた。山田杯及び三枝賞の楯は、従来どおり男女総合第一位に授与することとした。

松本大選手は、二時間二分二十一秒の歴代二位のタイムで、男女総合優勝及び二連覇を達成するとともに自己新記録を樹立した。男子三十六歳以上五十五歳以下は粕川嘉久治選手、男子五十六歳以上は山田豊選手、女子の部門は船橋緑選手が初代チャンピオンとなった。

三枝照雄賞の部(満十九歳未満)

では、群馬県立沼田高校の田口修一選手が三時間四十九秒で男女総合優勝、女子の部門は群馬県立沼田女子高校の西山亜理沙選手であった。

松本選手は、スタート直後にダッシュ、そのままゴールして二位に九分の差をつけて断トツの優勝を飾った。「路面が最悪で何回か転倒してしまい、途中で鏑木毅選手の大会記録(二時間一分十二秒)は難しいと思った」と悔しがりながらも自己ベストをマークし、満足できる結果と採点していた。

三枝照雄賞男女総合優勝を果たした群馬県立沼田高校の田口修一選手は、コース四キロ付近の前武尊山頂上付近でトップに立ち、それ以降は独走態勢のままゴールした。「先頭に立つてからは気が楽になった。後半は抜かれないようにと、前しか見ずに走り抜いた」と振り返り、日頃の練習の成果が実を結んだことを強調した。

男子五十六歳以上の部門で優勝

した山田豊選手は、第三回から第七回まで五連覇を達成しているが、「全盛期より記録が落ちた証拠」と話ながらも、新設された部門第一位になれたことで喜んでた。





第16回 山田昇記念杯登山競争大会記録

山田昇杯の部

◆男子35歳以下の部

1	松本 大	群馬大学	2° 02' 21"
2	横山 忠男	吉野工業所	2° 11' 49"
3	望月 将悟	静岡消防	2° 14' 57"
4	林 幸男	太工山岳部OB	2° 17' 04"
5	吉田 浩久	マロニエ医療福祉専門学校	2° 20' 11"
6	松井 英樹	静岡県山岳連盟	2° 35' 07"
7	吉田 健太郎	前橋市	2° 41' 41"
8	松本 浩	境町山の会	2° 42' 30"
9	吉田 尚紀	境町山の会	2° 45' 02"
10	佐藤 亮	アキレス	2° 50' 29"
11	沼野 健補	片品山岳ガイド協会	3° 00' 47"
12	飯塚 敏宏	群馬ミヤマ山岳会	3° 01' 08"
13	丸山 剛志	東京電機大学	3° 13' 08"
14	星野 芳孝	神奈川県座間市	3° 18' 10"
15	山岸 荒太	BMCC山岳会	3° 22' 47"
16	吉田 政弘	セシボンZ	3° 30' 47"
17	大野 真也	大泉高校	3° 53' 22"
18	日川 義哲	東京都江戸川区	3° 57' 58"
19	江川 幸希識	神奈川県鎌倉市	4° 02' 23"
20	石井 達幸	伊勢崎市	4° 04' 00"
21	山口 尚己	吾妻森林組合	4° 10' 29"
22	井田 祐一	高崎工業高校	4° 23' 37"

◆男子36～55歳の部

1	粕川 嘉久治	桐生市	2° 43' 19"
2	斎藤 光広	越生七福神TC	2° 45' 36"
3	小山 勝稔	翌松山岳会	2° 56' 31"
4	丸山 哲史	館林市	3° 01' 30"
5	小平 博	チーム・まいんど・トライアスロン	3° 02' 31"
6	川崎 政春	越生七福神TC	3° 10' 20"
7	廣瀬 昭憲	高崎工業高校	3° 13' 52"
8	須藤 貞夫	藤岡市	3° 13' 53"
9	大谷 俊行	邑楽郡千代田町	3° 16' 14"
10	細谷 肇	群馬県庁	3° 16' 53"
11	阿部 源	桐生市	3° 17' 04"
12	松本 今夫	吾妻郡嬬恋村	3° 18' 47"
13	田村 将夫	越生七福神TC	3° 28' 19"
14	長谷川喜久男	高崎工業高校	3° 28' 37"
15	大堀 努	神奈川県小田原市	3° 30' 42"
16	岩川 修	大空ヒマラヤ会	3° 38' 34"
17	高橋 守男	吾妻高校	3° 46' 02"
18	鹿山 知之	太田山岳会	3° 57' 34"
19	坂上 昭	熊谷山旅会	4° 02' 03"
20	高橋 俊一	前橋警察署	4° 21' 43"
21	青木 進	大間々山岳会	4° 31' 27"
22	野村 三男	栃木県宇都宮市	4° 45' 20"
23	坂西 成人	S・S・T	4° 54' 44"

◆男子56歳以上の部

1	山田 豊	沼田山岳会	2° 53' 18"
2	中澤 安信	伊勢崎山岳会	3° 30' 39"
3	武井 幸一	太田山岳会	3° 35' 33"
4	斎藤 長作	松井田山岳会	3° 37' 22"
5	井上 土史	高崎市	4° 03' 42"
6	山下 富也	桐生走ろう会	4° 19' 15"
7	尾崎 兼行	大胡町ランナー	4° 28' 00"

◆女子の部

1	船橋 緑	埼玉県さいたま市	3° 01' 10"
---	------	----------	------------

2	池田 陽子	栃木県鹿沼市	3° 07' 08"
3	井上 めぐる	岩手県盛岡市	3° 13' 11"
4	坂井 陽子	遊クラブ	3° 32' 49"
5	堀越 みゆき	大間々山岳会	3° 38' 22"
6	法領田 恵	高崎中居小	3° 57' 29"
7	館山 美和	利根郡片品村	4° 17' 31"
8	小湊 りつこ	利根郡片品村	4° 32' 27"
9	宮地 美奈子	群馬郡群馬町	4° 48' 51"
10	中村 マリ	群馬郡群馬町	4° 48' 57"

三枝照雄賞の部

◆男子の部

1	田口 修一	沼田高校	3° 04' 59"
2	剣持 好司	渋川高校	3° 14' 40"
3	長谷川慎吾	沼田高校	3° 38' 18"
4	阿部 隼司	沼田高校	3° 40' 30"
5	金古 岳史	沼田高校	3° 42' 23"
6	高本 憲孝	高崎工業高校	3° 50' 39"
7	田村 直也	沼田高校	3° 59' 13"
8	岡村 明典	新島学園高校	4° 08' 06"
9	長谷 佳幸	館林高校	4° 09' 46"
10	大塚 佑馬	渋川高校	4° 12' 37"
11	林 正平	沼田高校	4° 15' 51"
12	福田 侑人	館林高校	4° 17' 39"
13	石橋 成	沼田高校	4° 18' 18"

14	生津 智巳	沼田高校	4° 23' 25"
15	白石 裕也	高崎工業高校	4° 23' 36"
16	池口 耕平	沼田高校	4° 28' 26"
17	原澤 翔太	渋川高校	4° 28' 30"
18	茂木 康行	館林高校	4° 35' 21"
19	堀井 和音	館林高校	4° 51' 37"
20	藪田 貴之	太田工業高校	4° 53' 51"
21	森田 一輝	渋川高校	4° 54' 00"
22	青木 大輔	渋川高校	4° 54' 08"

◆女子の部

1	西山亜理沙	沼田女子高校	3° 16' 16"
2	帆刈 静香	沼田女子高校	3° 21' 34"

（表中の ° ' " は、時間・分・秒を表す）



第10回

フリークライミング群馬カップ2005

群馬県山岳連盟クライミング部長 堀越利通

○会場 ウォールストリート
(クライミングジム)

○開催日 平成17年10月2日(日)

○競技種目

予選 ボルダリング
(トラバース課題)

決勝 リード
(キッズはトップロープ)

○参加者数 キッズ 11名
ミドル 26名
エキスパート 9名

○競技会概要

今大会では、ボルダー、リード
クライミングの二種目を取り入れ
てみた。

開会式後、クラス別に順次オプ
ザベーションを行い、ボルダリン
グ競技を行う。続けて、決勝のオ
ブザベーション。予選の成績で決
勝の競技順を決め、競技を行う。
予選、決勝の得点の合計で順位を
決定する。

各クラスの競技終了後、表彰式、
閉会式を行う。

○競技成績

キッズ一位 尾上 彩(川口市)

二位 堤 孔盟(昭和村)

三位 塚田遼河(茨城県)

ミドル一位 落合伸明(神奈川)

二位 松本 充(栃木県)

三位 菅谷友和(茨城県)

エキスパート

一位 堀込 悟(伊香保町)

二位 酒井正信(伊勢崎市)

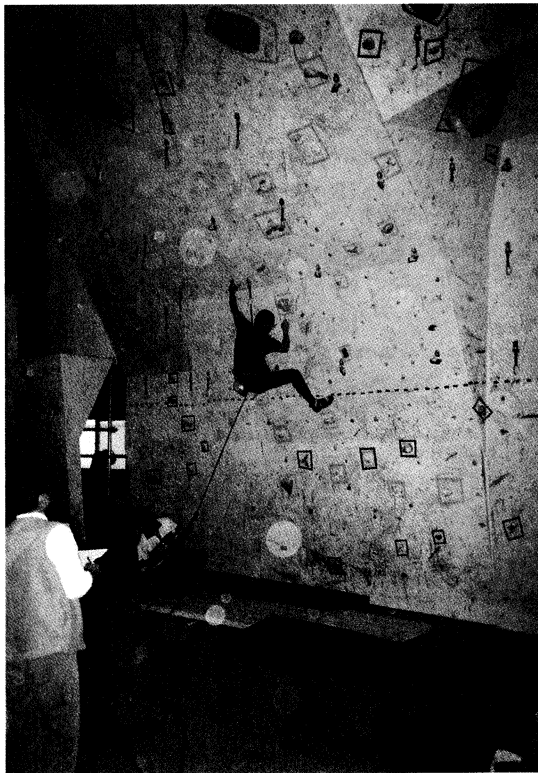
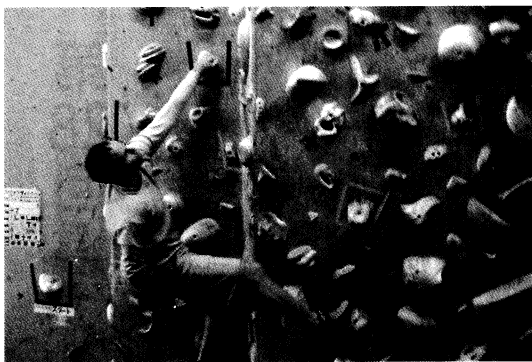
三位 富澤太郎(境町)

○反省・今後の課題

今回、初めての試み、ボルダリ
ング競技に関しては、参加選手か
らは何のクレームもなかった。普
段の練習からボルダーを取り入れ
ているからだろう。

運営スタッフ、特に審判は事前
にボルダリング競技規則の講習を
受けたら、シミュレーションをし
たりと何度も集まってもらった。

次回、できれば土・日の二日間
を使って競技したいところだが、
場所のこと、人材不足、運営資金
等を考えると、ボルダーかリード
のどちらかに絞って競技を行いた
いと思う。



第28回県民登山大会 報告

《西上州 諏訪山・倉門山・笠丸山》

県内各地から登山愛好者を集め、郷土の里山を訪ねて親睦を深める県民登山大会が、今年も群馬県民の日の記念事業（第21回）の一環として、十一月六日（日）に開催された。会場は、埼玉・群馬の県境に位置する西上州多野郡上野村の、諏訪山（一五四九m）・倉門山（一五七二m）・笠丸山（一八九m）三山である。アプローチが長く訪ねる人もまれな神流川の源流、ひっそりとした閑寂の地が選ばれた。しかも大会当日は全天が雲におおわれ、小雨に周囲の景観が包み込まれる登山道は、まさに深山幽谷のおもむきがあった。

本大会は、群馬岳連が主管。佐藤光由岳連理事長が大会委員長をつとめ、総務・式典・通信医療救護・接伴各部の本部役員と、A・B・C三コースの行動役員を合わせて四十五名の役員が準備と運営に当たり、一般参加者八十三名を集め、総勢一二八名のつどい大会となった。

開会式はヴィラせせらぎ（上野村大字勝山）野外ステージで朝七時三〇分から開催。角田二三男岳連副会長が開会の挨拶、地元上野

村から松本宇隆村長が歓迎の挨拶、佐藤光由大会委員長が参加者へのお礼を述べた上で安全登山への協力を要請、大会開催に尽力頂いた上野村・同教委・団体協に岳連から感謝状を贈った後、三コースのCL・SLを紹介してから開会式を終了、隊編成へと進められた。

充分な準備と責任あるリーダーが案内する大会でなければなかなか訪ねることのない山域に、多くの人を集めて開催された大会の意義は大きかったであろう。雨にぬれた冷たい体に振舞われた熱い汁物は、心の芯まで充分温めてくれた。

◆コース

Aコース《諏訪山》上級者向き・約六時間

ヴィラせせらぎⅡ（バス）Ⅱ浜平ノ湯ノ沢ノ頭ノ三笠山ノ諏訪山ノ三笠山ノ湯ノ沢ノ頭ノ浜平Ⅱ（バス）Ⅱヴィラせせらぎ

Bコース《倉門山》中級者向き・約五時間

ヴィラせせらぎⅡ（バス）Ⅱ天丸橋ノ倉門山ノ馬道のコルノ社壇乗越ノ天丸山登山口ノ天丸橋Ⅱ（バス）Ⅱヴィラせせらぎ

Cコース《笠丸山》初級者向き・約三時間三十分

ヴィラせせらぎⅡ（バス）Ⅱ住居附高橋登山口ノ地蔵峠ノ馬道のコ

県民登山大会に参加して

Aコースチーフリーダー

ミヤマ山岳会 小和田美由紀

2005年11月6日、上野村で行われた県民登山に、Aコース諏訪山を担当させていただきました。下見に5月に訪れた時には、すばらしい石楠花と、まだ自然動物が残されており、鹿などに出会えることに感動しました。当日は、役員の皆さんにご協力いただきながら、約80名の方を引率させていただきました。曇り空の中を川に沿って水の音をききながら、紅葉を眺めつつ、まずまずのスタートに、雨が降り出す時間が少しでも遅くなりやすうにと祈りながら歩き出しました。もともとコースタイムが長いコースであり、早くも3時間ほどで徐々に小雨が降り出し

ルノ槽沢山ノ地蔵峠ノ笠丸山ノ笠丸山南峰ノ住居附Ⅱ（バス）Ⅱヴィラせせらぎ

◆リーダー

Aコース CL 小和田美由紀（ミヤマ）、SL 金子茂敏（大田）。Bコース CL 剣持典之（境町）、SL 飯塚敏宏（ミヤマ）。Cコース CL 中村和貞（ミヤマ）、SL 吉田孝（大田）。

ました。下山のことを心配し、山頂までを諦める決断は、百名山などの目標をお持ちの方もいらつしやるのに、参加者の皆さんに申し

コースリーダーとしての自覚が足りなかった私

Bコースチーフリーダー

境町山の会 剣持典之

去年行われた県民ハイイクのコースリーダーを担当させてもらい、いくつかの反省点があります。○参加者に「今年の申し込み先は

訳ないと思いつながらの決断でした。足がつるとの参加者があり、連絡を取るにも2台のトランシーバーしかなく、連絡をするために役員が走るなどのご苦労をおかけしてしまいました。トランシーバーの使用数と配置をもっと計算し活用するべきとの反省が残りました。大名列のように、多数で自然の中に参入することは、まだ自然動物の多く存在する大切な領域を荒らすようで、心苦しくもありました。これを機会に、再度諏訪山に登りに、残されている自然を楽しむにきて頂きたいと、バスの帰り道にご挨拶させていただきました。初めてのリーダーで、至らないことばかりでしたが、私には自然と山を案内する意味と役割を学ぶ機会となりました。ご協力いただきました役員の方々に感謝いたします。

どこでしたっけ？」「来年はどこに申し込めば良いのですか？」この質問に答える事が出来ませんでした。（私のコースの役員は殆ど

答えられなかったと思います。」

○Bコースの下見をしている役員が私一人しかいなかったため、バスで移動中に登山口を通り越してしまい、県境の看板が出てくるまで気が付かず登山の出発時間を遅らせてしまいました。

○けが人や不調者、また悪天時などの対応策を考えていなかったこと。(下山させるルートや悪天時に中止を判断する通過点など)

当日はけが人や不調者、また天気の大きな崩れもなく登山を終了

させる事が出来ましたが、今回の

県民ハイイクは単一の山岳会担当ではなく岳連全体で担当?一度の下見で十分だと決め付けていた事など、私自身が関わっているという自覚が少し足りませんでした。また、私の受け持ったコースの殆どの参加者が岳連関係者で、少し寂しい思いをしました。

今後はこの様な形の開催が増えていくと思いますが、コースの設定やアピールの方法、役員選定など積極的に関わって行きたいと思っています。

県民登山大会

Cコースチーフリーダー

ミヤマ山岳会 中村和貞

05年11月6日、上野村で行われた県民登山にCコースのリーダーで参加しました。今回で2回目の参加ですが、昨年の赤久縄山で紅葉に包まれるようにして歩いた心地よさに感動しました。この時期に紅葉を楽しむような山登りをあまりしてこなかったため、昨年からの山の新たな楽しさを知ったように思います。普段の登山がロープを使って登ることが多いのですが、そのような山の中でも十分に景観を楽しめたと思いますが、そこま

で心のゆとりが無かったか、それとも他の印象が強く残っていたのかも知れません。県民登山ではゆとりのある歩行で登って行きますので、よりいっそう景色を眺める時間が多く取れることも楽しみの一つだと思います。また、参加者どうしの交流の場でもあるので、他の人との話も楽しいです。中には毎週のように登山をされている方もいらつしやり、今回の笠丸山には4、5回も来ていると聞くと頭が下がります。

さて、Cコースの笠丸山は3ルートの中でコースタイムが一番短く、また他のルートに比べると険しさがあまりないと感じましたが、それでも変化のある登り下りがあるコースでした。会場で振舞われる豚汁ができるまで時間がありませんでしたので、山頂付近で十分に休憩を取り、皆さんには満喫できたのではと思っています。しかし、初級者用に選定されたコースだけあって、当然ながら参加者は山の初心者が多く、何時何処で何が起こっても不思議ではないと思いました。事前にスタッフ同士の打ち合わせに時間をかけてもよかったのではと、今更ながらに反省しています。

沼田山岳会が谷川岳で遭難した長田まり子さんの捜索のために製作したアバランチ・プローブ(ズンデ棒)が、平成十七年度の「グッドデザインぐんま」に選定されました。

一部を切り取ってくる事が出来たり等の工夫がされています。沼田山岳会と沼田市の丸山製作所で検討しながら製作したものです。

プロガイド協会に田中成幸さんが紹介したり、日山協の冬山レスキュー講習会で町田理事が紹介したりしています。

有っては困る事ですが、万一の時は沼田山岳会の事務所に常備されているので、頭の隅に留めておいてください。

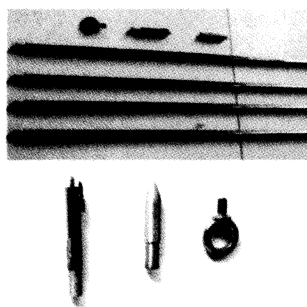
GOOD DESIGN GUNMA

75 AVALANCHE PROBE

丸山製作所
沼田市沼須町215
☎0278-20-1818

冬山での雪崩発生時、埋没した人の捜索活動に使用する器具。シンプルな型状の中に強度と機能を含ませ持った製品です。

デザイン：丸山龍一



アバランチ・プローブ
グッドデザインぐんまに

選定される

群馬県山岳連盟

遭難対策部長 松 永 幸 雄

アイスクライミング講習会

参加の記・考えたこと

大間々山岳会 福田 純 一

平成十八年二月五日、松木沢黒沢にてアイスクライミング講習会が開催された。恒例ともなった講習会（私は第一回への参加を契機に群馬岳連にお世話になっており毎回思い出深い）であるが今回は「剣持君が講師」、ならば一人でも多く協賛しなくちゃね、と参加した。残念ながら剣持講師不在となり彼の秘技を見ることはできなかった。十六名の参加者（内二人は都岳連会員）を得、阿部指導委員長がメイン講師での実施となった。

始まるにあたり阿部講師から「君と違って自分のツールでホルドの得られるアイスクライミングでは、トップロープでは登れて当たり前前。それゆえリードで登ってこそがアイスクライミングの醍醐味だと思えます。今日はそれを念頭において参加してほしい」と、改めて心に刻むべき言葉があった。これと併せて、今回は参加者の殆どが各会の中堅であつたので、講習というより相互研鑽・研修の様相が進められ、パートナを組んでアイスクライミングの醍醐味を楽しむことができた。（お陰で例年アシスタント役の私も合計6ピッチ登れた。）

皆、持参のツールも専門性の高いものばかりで且つ各自はそれらを使いこなしているようであつたから、例年のような登り方やロープワークの基本説明は不要の状況。その中で都岳連から来られた大前氏による「対角線バランス」テクニクは勉強になった。これは左右のアイゼンを均等加重でフック・あるいは三点支持の状況にするのではなく、アックスの一手を振る時、上げる手（例えば右）と、反対側となる足・ブーツ先（右に対し左側）を体芯から外側に出しておく。こうすると左側足重量が右肩の位置を押し上げるトルク

として働くので、より高い位置に右の一手を打ち込めるのだ。このときクライマーを支持している右足アイゼンのフックポイントと左手アックスのピッチ位置はひとつ

の鉛直ライン上にあることで安定する。鉛直ラインからズレていると余計な腕力を要する。更に足先を大きく水平に出せば「フラグging」でありフリークライミング的テクニクである。

角田講師の自作スクリュウシュー（鞘）には感心した。歯を傷めないよう一本ずつ入れられるもので、硬めで薄手の樹脂ホース材を火で焙じて軟いうちに捻った形状に作り、スクリュウ外径が僅かに食込む内径にしている。スクリュウ購

入時に付属のネット状カバーに比べて、挿入容易で且つ脱落しにくいようだ。

特殊テクニクとして二本の直列スクリュウで薄い氷に対して信頼出来るプロテクションを作る方法が紹介された（図を参照）。これはジェフ・ロウ著「アイス・ワールド」（一九九八年山と溪谷社）に出ている。誤解のないよう又微妙に参考となる記述もあるので要約せず記すと「二本のスクリュウを五十センチほど離して上下に打つ。



スクリュウの歯が岩に触れたらすぐに回転を止める。下のスクリュウを少し巻き戻してカラビナの穴がまっすぐ上にくるようにする。私はいつも二十センチほどのループ（注1）を一端に作った七ミリ径の細引き（注2）（一・五メートル長）を携行することになっているが、そのループで上のスクリュウにタイオフ（注3）してやる。そして、細引きを下のスクリュウの穴にクリップしたカラビナに通し、それを再び上方に戻してタイオフしたループに結んでやる。こ

うすれば張力を上下のスクリュウに分散できる。細引きを力いっぱい引き、タイオフしたループにトラッカーズ・ヒッチ結びを繰り返して留めるのだ。うまく結べた証拠には、細引きを弾くとダブル・ベースを奏でるような音が出るはず。最後にスリングをもう一本使って、下のスクリュウにタイオフ（注4）し、カラビナでリードロープを通してやる。』というテクニクだ。

ここで参加者の中から「下のスクリュウが入っている氷が崩壊し

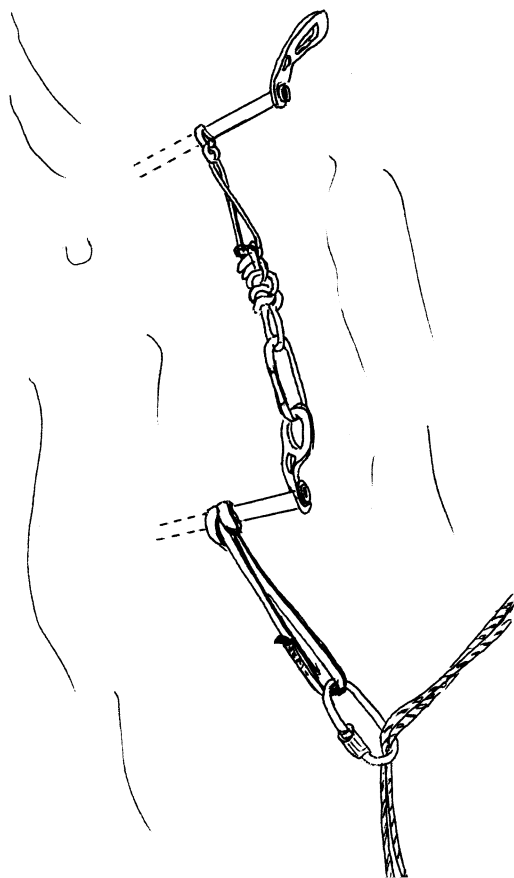


たらリードロープ側のタイオフ・スリングごとはずれる心配は？」との質問が出た。現実はどうか、講師から各参加者に研究してみるよう促された（注5）のだが、本稿作成のジェフ・ロウの著述を読み直すと『テストでは、直列スクリュウはタイオフして力を分散させた二本のスクリュウの数倍の力に耐えることができた』と書かれていた。

とはいえ氷・天然の状態、さらに言えばクライミングの状況によって最適のテクニクがどれかはクライマー自身が自己の責任と判断において決定すべきものである

う。そして「うまい解決策を見出す」ことがアルパインクライミングの一つの醍醐味ともいえるのだろう。

最後にF3上部から懸垂下降で降りる時が来た。順番待ちの合間にパートナとなった田島君に「懸垂下降者が動けなくなったなどの場合、フルテンション状態のロープを伝うしかない時の懸垂下降方法を知らず」と訊いたが答は「否」。自己研修の意味で説明はせず、日本アルパインガイド協会出版『Mountain Rescue Technique』(Chapter4)から学ぶことを薦めた。（これはアルパインクライミング



〔図：直列に設置したスクリュウ〕

全般に有用な方法なので中・上級の方々には是非研究されることを望みます。）

注1 ループはロープスリング同様フィッシャーマン結びで作るとよい。

注2 スタティックロープが良い

注3 スリッパノットが使い易い

注4 写真を仔細に観察するとタイオフ位置でスクリュウが一山

程度、氷から出ている。過重によりスリングがハンガー側に滑ることを防ぐための工夫だろ

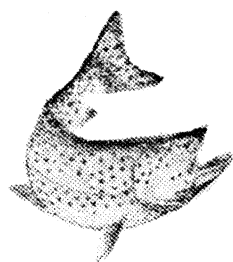
注5 下側スリングを別のスリング等を使って上のタイオフへとバックアップする方法が考えられる。又、ジェフ・ロウは「シヨックアブソーバー」を介してリードを通すことを薦めている。

味の店 ドライバーレストラン

一本松さかい

沼田市白沢町上古語父（国道120号線） TEL.0278-53-2053

片品川国際マス釣場



星 野 水 産

〒378-0013 沼田市新町230-1

TEL 0278-24-1398

味のりんご

アンナプルナりんご園

沼田市上久屋町1231 TEL・FAX 0278-23-6802

<http://www.annapurna.jp>

Annapura

総合建設業 空調・衛生・消防設備工業

石原工業株式会社

本社 渋川市有馬164
☎(0279)24-7111(代)

工事部 赤堀町北上野203
☎(0279)56-8111(代)

電話、弱電工事

プモリ電設

〒379-2223
伊勢崎市小泉町252
☎ 0270-62-2012

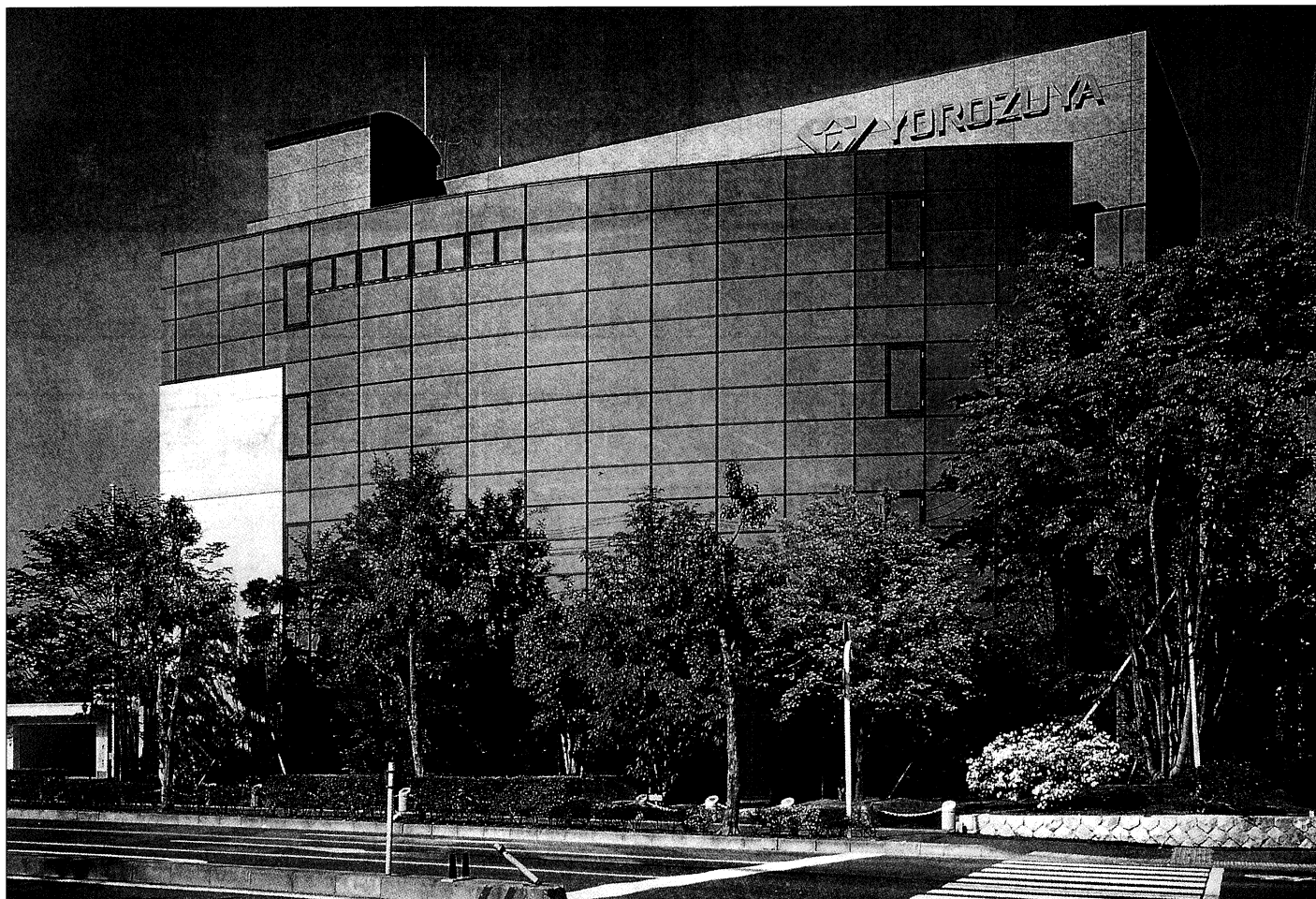


(有) 山とスキーの店 石 井

Dream BOX

伊勢崎市宮子町1819-1
TEL 0270-21-8025
FAX 0270-21-8026

本店 (山の談話室 楼蘭)
伊勢崎市中心町18-8
TEL 0270-25-0272



萬屋建設グループ

歴史、信用、技術をもって、21世紀の人間と環境を考える。



総合建設業 萬屋建設株式会社

会 長 星 野 光

■本社 群馬県沼田市上原町1756-2 TEL 0278-23-4648(代) FAX 0278-24-3371
■支店 東京都豊島区東池袋4-2-7 TEL 03-3985-7631 FAX 03-3982-5964

群馬県公安委員会指定 (公認)

株式会社 沼田自動車教習所

群馬県沼田市横塚町1088-13 TEL 0278-24-4811 FAX 0278-23-7960

昭和シェル石油特約店 有限会社 丸萬石油

群馬県沼田市上原町1756
TEL 0278-23-0018 ☎ 0120-41-0018

日本工業規格表示許可工場 建設生コン株式会社

本 社 沼田市上久屋2338-1 TEL 0278-24-3111
大楊工場 沼田市利根町大楊187 TEL 0278-56-3682

総合建設業 株式会社 鈴木工業所

群馬県沼田市上久屋1162-5
TEL 0278-22-2846 FAX 0278-23-6233

マンション 萬栄ビル株式会社

東京都豊島区東池袋4-2-7
TEL 03-3971-3433 FAX 03-3982-5964